

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	徳之島町家庭教育支援チーム (呼称:つむぎたい) URL: https://www.instagram.com/tokunoshima_tumugitai/
②活動拠点	徳之島町生涯学習センター
③活動範囲	徳之島町内全域
④組織体制	9 人 家庭教育支援員8名、教育委員会担当職員1名 その他協力者(有資格者による託児、親子参加型行事の指導者など)
⑤活動開始年度	平成26年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 徳之島町教育委員会社会教育課 (TEL)0997-82-2904 (E-mail)tokusya@tokunoshima-town.org

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン「ママ navi」の開設 親子体験講座の開催時にあわせ、子育てサロン「ママ navi」を年数回開催しているほか、町生涯学習センターを拠点として、子育てサロンを不定期開催し、保護者の交流と相談の場の提供を行っている。 ・家庭教育講話の実施 小中学校の家庭教育学級や就学時前健診・乳幼児検診等の待ち時間・出産祝い金贈呈式等を利用して保護者へ向けた家庭教育講話を実施している。また、子ども会主催行事や保護者とその子どもが集まる場所へ出張し、家庭教育講話を随時実施している。 ・家庭教育啓発資料の作成 子どもと保護者が一緒になって楽しく取り組んでもらう家庭教育啓発資料を作成している。現在までに、成長ごとの家庭教育に関する語録が入った身長計と、小学校入学前の未就学児を対象として「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組んでもらう、ごほうびシール形式の資料を作成。また、スマホの使用やトラブルリスクについて考えてもらうチラシを作成し、町内全戸へ配布した。 ・家庭教育情報誌の作成 社会教育だより「心のごはん」を活用し、家庭教育に関する情報や、つむぎたいの活動状況について随時発信している。 ・Instagramの活用 子育て世代が多く利用している「Instagram」のアカウントを開設し、各種イベントや講座の情報発信を行うほか、家庭教育に関する講話や鹿児島県が定めている毎月23日の読書の日に関連情報等を随時発信している。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講演会や就学時健康診断の講話や各種イベント等を行った際にはアンケートを実施し、保護者の感想を次へつながるよう心がけている。保護者からは「講話という堅い感じではなく、具体的で前向きで、子育て中の背中を押してくれる内容がよかった」、「家庭教育の大切さを感じた。親が子育てを楽しむことが一番」といった声が寄せられている。 ・家庭教育支援チーム認知度アップの為、社会教育だよりやInstagramを活用しているほか、子ども向けイベントに参加してきたことにより、認知度も徐々に上がってきた。「つむぎたい」という存在があると知ってもらえるようになってきた。

	<p>・家庭教育啓発資料「はやね・はやおき・あさごはん きちんとできるかな？」については、取り組んだ成果を教育委員会へ報告いただく形をとり、達成状況についてInstagramで発信を行っている。フォロワー数も年々増加してきている。保護者からは親子一緒に楽しく取り組むことで子どものモチベーションの維持につながった等の意見をいただいている。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域で支える家庭教育推進事業費補助金)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>